

お客様へ

このガイドでは、お買い求めいただいた Bang & Olufsen 製品および接続された機器の、基本的な使い方を説明します。通常、製品の配達と設置、セットアップは、販売店が担当いたします。

テレビは、このスタートアップガイドで説明されている以上の機能を、数多く有しています。たとえばタイマー機能や自動スタンバイ、チャンネルの編集およびネーミング機能などです。これらを含む各機能については、各テレビ用のガイドに詳しく説明されています。

各ガイドは、www.bang-olufsen.com/guides で入手できます。

ガイド類は、新しいソフトウェアが導入されたり、このテレビに新たな特徴や新機能が付加されると、そのつどアップデートされていきます。

www.bang-olufsen.com には、この製品に関するより詳しい情報と、よく聞かれる質問が掲載されています。

修理等に関するお問い合わせは、まず Bang & Olufsen 販売店へお願いします。

お近くの販売店の所在地も、以下のわたしたちのウェブサイトで見つけていただけます…
www.bang-olufsen.com

警告: 火災や感電の原因となりますので、水がかかる場所や極端に湿度の高い場所で、この機器を使わないでください。また、花瓶など液体が入った容器は、この機器の上に置かないでください。

この機器と電源を完全に切り離すためには、電源コードをコンセントから抜いてください。電源に接続する時は、抜き差しがしやすい場所にあるコンセントを選んでください。



正三角形の中に稲妻が入った左のマークは、この製品の内部で、感電の危険をもつ“絶縁されていない高電圧”が発生する可能性を、使用者に警告しています。



正三角形の中に感嘆符が入った左のマークは、この製品の取扱説明書の中に、操作と保守に関する重要な情報が含まれていることを示します。

警告

- テレビが、本ガイドに従って正しく設置され、接続されていることを確認してください。スタンドや壁掛ブラケットは、Bang & Olufsenが承認した物のみを使ってください。
- テレビは、頑丈で安定した水平面に設置してください。
- テレビの上には、絶対に物を置かないでください。
- テレビは、雨のあたる場所や極端に湿度の高い場所、または熱源のそばに置かないでください。
- テレビは、通常の湿度をもつ室内で使うことを前提に設計されています。室温を摂氏10度から35度に保てる、海拔1500m以下の場所で使用してください。
- 直射日光のあたる所や、スポットライトなどの強い照明が直接あたる場所に、テレビを置かないでください。リモコン信号受光部の感度が低下することがあります。また、スクリーンが過熱すると、画面上に黒い点が現れることがあります。このような点は、テレビが常温に戻ると消えます。
- このテレビの周囲には、放熱のための充分な空間を確保してください。
- お使いのシステムに含まれるいずれかの製品を、電源コンセントに抜き差しする場合は、すべてのケーブルを接続したままにしておいてください。
- 火のついたキャンドル等の裸火を製品の上に置くことは、絶対にやめてください。
- 万が一火が燃え移るのを防ぐため、キャンドル等の裸火は、常にこの製品から遠ざけてください。
- テレビの分解は、絶対に試みないでください。点検や修理は、必ず専門のサービス員にご依頼ください。
- 鋭利な物や硬い物でスクリーンに触れることは、絶対にやめてください。
- テレビを完全に電源から切り離すには、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 接続する時は、抜き差しがしやすい場所にあるコンセントを選んでください。
- 付属の電源コードとプラグは、この製品専用に設計されています。プラグを交換したり電源コードを傷つけてしまったら、Bang & Olufsen販売店から新しい物を購入しなければなりません。

目次

日常的な操作

- 6 リモコンの使い方
- 8 はじめに
- 10 テレビを見る
- 12 3Dテレビを見る
- 14 サウンドのタイプと映像フォーマットを変更する
- 15 Adaptive Sound Technologyを使う

設置と設定

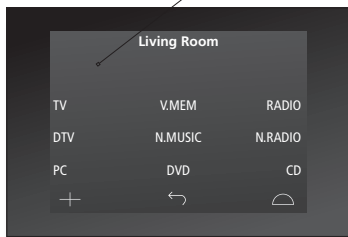
- 18 テレビをセットアップする
- 19 クリーニング
- 20 接続パネル
- 22 テレビの初期設定

リモコンの使い方

Beo6 による操作



ご使用のテレビは、本スタートアップガイドとテレビのガイドで説明されている通り Beo6 リモコンで操作できますが、Beo5 を使った場合も、Beo6 を使った時と同様の方法で操作することができます。



- TV** スクリーンに直接タッチするソフトボタン*¹
ソースをオンにする、または機能を選ぶ
- ←** 前の Beo6 ディスプレイに戻っていく
- ↻** Zones や Speaker などの、Scene ボタンを呼び出す
もう1度押すと元の画面に戻る
- +** チャンネル等を選ぶための、数字ボタンを呼び出す
もう1度押すと元の画面に戻る
- STOP** 再生または録画を一時停止または停止する
- PLAY** ディスクの再生または録画を開始する
- BACK** 前のメニューに戻っていく 長押しすると全メニューが完全に終了する
- 特定の色が振り分けられた機能を選ぶ*²**
音量ホイール上の、そのカラーに隣接した部分を押す
- 回して音量を調節する。
素早く左へ回すと、スピーカーからの音が消える
- センターボタンは、選択と承認を行なう
- <◇>** ナビゲーションボタン左、右、上、下 - 各方向へ押しすることで、メニューの中を移動していく。
- ⏪ ⏩** 早送りまたは早戻し、あるいは前後へのサーチを行なう
- ⏴ ⏵** チャンネルなどを送っていく
押し続けると連続して送られていく
- スタンバイ

重要 – より詳しい情報は www.bang-olufsen.com

***¹ボタン類について** ライトグレーのボタンは、ディスプレイ表示された文字に触れることで動作するソフトボタンを意味します。ダークグレーのボタンは、通常の押して使うボタンです。














***²カラーボタン** 音量ホイールの上の、そのカラーに隣接した部分を押して選びます。

ゾーン名 設定した時に、各ゾーンにつけた名前が表示されます。
Beo6のソフトボタン スクリーン表示されるソフトボタンの内容は、オンになっているソースによって異なります。機能名に触れると、その機能がオンになります。

Beo4 による操作

このテレビは、Beo4 リモコンでも操作できます。Beo4 による操作が Beo6 の操作と異なっている場合は、別途異なっている点を説明します。



-  TV Beo4 ディスプレイには、オンになっているソースや機能の名前が表示される
-  TV テレビのスイッチを入れる*³
-  DTV 接続した端末機器をオンにする
-  V.MEM 接続されたレコーダーのスイッチを入れる
-  0-9 チャンネルを選ぶ、オンスクリーンメニューにデータを入力する
-  LIST Beo4 ディスプレイに、表示されている機能やソースのための補助的“ボタン”を表示させる。
↑または↓で、リスト内を移動できる
-  MENU オンになっているソースのメインメニューを呼び出す
-  ◀ ▶ チャンネルなどを送っていく
押し続けると連続して送られていく
-  ⏩ ⏪ 早送りまたは早戻し、あるいは前後へのサーチを行なう
-  < ◀ ▶ > ナビゲーションボタン左、右、上、下◀、▶、↑、↓ および ⏪ ⏩ 各方向へ押すことで、メニューの中を移動していく。
-  ● センターボタンは、選択と承認を行なう
-  ■ 特定のカラーが振り分けられた機能を選ぶ
-  ◀ ▶ 音量を調節する
ボタン中央を押すと、スピーカーからの音が消える
-  STOP 再生または録画を一時停止または停止する
-  PLAY ディスクの再生または録画を開始する
-  BACK メニューおよび Beo4 リストの中を戻っていく。長押しすると全メニューが完全に終了する
-  ● スタンバイ

³Beo4のボタン 一部のボタンは、設定の段階で機能を決めることができます。詳しくはガイドを参照してください。
注意! リモコン操作に関する全般的な情報は、お使いのリモコンに付属するガイドをご覧ください。

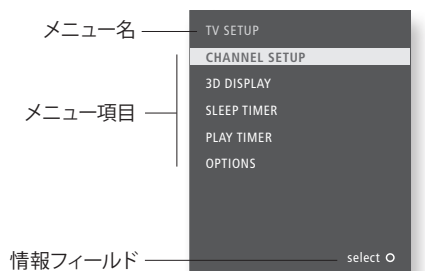
はじめに

リモコンを使い、メニューや設定を選んでいきます。Menuを押すと、選んだソースのメニューが呼び出されます。

ディスプレイとメニュー

選んだソースの情報は、リモコンのディスプレイに表示されます。各種の設定は、オンスクリーンメニューから変更できます。

Living Room	TV	Menu
テレビのあるゾーンを選ぶ ¹	テレビをオンにする	メニューを表示させる



オンスクリーンメニューの例

重要:

¹*Zone ゾーンは、Beo6の設定時に名前を与えられています。

メニューをナビゲートする

メニューがスクリーンに表示されている時は、メニュー項目間の移動、設定の表示、データの入力が行なえます。

						または	
項目/設定を選ぶ	データを入力する	サブメニューを呼び出す/設定を保存する	項目を選ぶ	前のメニューに戻っていく	押し続けると、すべてのメニューが終了する		

リモコン このスタートアップガイドと製品ガイドは、REMOTE CONTROLメニューで NAVIGATION BUTTON が有効に設定されている場合の操作を、説明しています。OPTIONSメニューから、REMOTE CONTROLメニューが呼び出せ、このメニューでは、ナビゲーションボタンを使ってこのテレビを操作するか否かを、設定することができます。Beo4 リモコンを正しいモードに設定するのを、忘れないよう注意してください。ただし、初期設定の実行中にモードを変更することはやめてください。初期設定の順序が乱れてしまいます。より詳しい情報については、各リモコンに付属のガイドを参照するか、Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。

テレビを見る

番号ボタンでテレビチャンネルを選んだり、他のチャンネルまたはソースに切り替えます。

これらの機能を使うには、まずテレビのソースをオンにします



他にも登録されているチャンネルがあることを示す

Beo6 による操作



テレビのスイッチを入れる

テレビのチャンネルを選ぶ

チャンネルリストを呼び出す

音量を調節する

映像レコーダーに、ただちに録画を始める

接続した外部レコーダーへの録画中も、他の録画映像やソースの映像、テレビチャンネルが見られます。



















テレビのスイッチオフ

自動カラー測定が開始される場合もあります。















用語などの説明

Automatic Colour Management

スタンバイボタンを押した際、黒くなったスクリーン上にグレースケールを刻んだバーが現われ、テレビフレームの上部からセンサーアームが下りてきた場合は、自動カラー測定が始まっています。Automatic Colour Managementは、約100時間の視聴ごとに、スクリーン上のカラー表示の変化を自動補正する機能です。カラー測定中は、システムのスイッチを切ったり電源から抜かないでください。

				
押す				
	または			
選択する		番号ボタン を呼び出す	チャンネルを選ぶ	1つ前のチャンネルを選ぶ
			または	
押し続けチャ ンネルリスト を呼び出す	ページを 選ぶ	チャンネ ルを選ぶ		
		番号ボタンを呼び出す		
				承認する
				
音量を調節する 素早く左へ回すと、スピー カーからの音が消える				どちらかへ回すと、再び音が出る
				
録画を開始する		録画を終了する		
				
押す				

Beo4 による操作

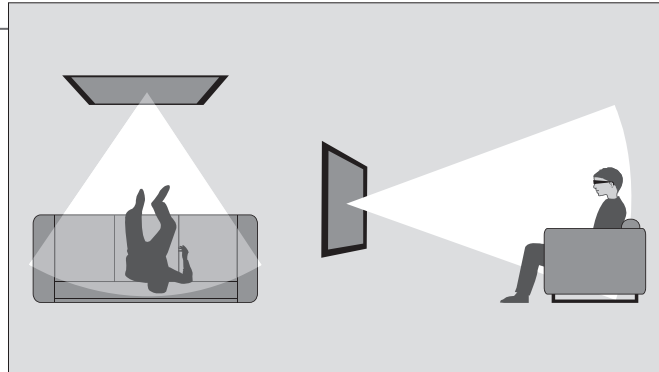
			
押す			
	または		
選択する		チャンネ ルを選ぶ	1つ前のチャンネル
		または	
押し続けチャ ンネルリスト を呼び出す	ページまたはチャンネルを選んで承 認する		
			
音量を上げる、 または下げる	ボタンの中 央を押すと、 音が消える	ボタンの中央を再び 押すと、音が出る	
			
2度押すと録画が始まる	2度押すと録画が終了 する		
			
押す			

3D テレビを見る

ご使用のテレビスクリーンまたはプロジェクターが、3D技術に対応している場合、3D映像を表示させることで映画やスポーツ、自然科学番組などのテレビ体験をより豊かにすることができます。

視聴環境

通常の2Dテレビを見る場合よりもやや近い位置を選び、スクリーンの正面に座って3Dメガネをかけます。視聴位置からスクリーンまでの理想的な距離は、スクリーンの大きさや画像の解像度によって違ってきます。スクリーン中央から左右どちらかの方向、または上下どちらかの方向へずれ過ぎてしまうと、3Dテレビの効果が薄れます。すべてのテレビが3D技術に対応しているわけではないので、ご注意ください。詳しくは、販売的にお問い合わせください。



照明を落としたりカーテンを閉めて室内を暗くすると、よりよい3D体験が得られます。スクリーン後方および周辺の光は、映像に悪影響を与えます。直射日光があたる場所や、非常に明るい場所での3Dテレビの視聴は、お勧めできません。

3Dまたは2Dテレビをオンにする

3Dに適した映画や番組を見る場合は、3D機能をオンにしたのち、販売店で入手できる3Dメガネをかける必要があります。ニュースなどの3Dに適していない番組を見る時は、2Dモードに戻します。

Beo6またはTV SETUPメニューに、Scene表示を呼び出す

Beo6で3D Displayを選ぶ、または3D DISPLAYメニューを呼び出す

→ 3Dまたは2Dを選ぶ

● 押して3Dまたは2D映像を見る、またはモードを選ぶ

3D/2D

3D信号が自動で送出されている場合、3Dを選ぶとテレビは自動的に3Dを、2Dを選ぶと自動的に2Dを表示し始めます。自動3D信号がない場合は、3Dまたは2Dモードを選ぶメニューがスクリーン上に現われます。各モードにつきましては、次ページをご覧ください。

重要:

3D映像を安全に楽しむための注意

3D映像を見ているうち、人によっては目まいや吐き気、頭痛などを感じることがあります。このような症状を感じた時は、ただちに3Dテレビの視聴を中止して3Dメガネを外し、休息してください。3Dテレビを長時間見ていると、目に疲れを感じることがあります。目の疲れを感じた時は、ただちに3Dテレビの視聴を中止して3Dメガネを外し、休息してください。通常のメガネやコンタクトレンズを使用している人は、その上から3Dメガネをかけてください。3Dメガネを他の目的で使用することは、やめてください。お子様が3Dテレビを見ている時は、前述のような症状をお子様が感じていないかどうか、周囲の大人が十分に注意してください。6歳以下のお子様には、3Dテレビは見せないことをお勧めします。

3Dモード

番組提供者から送出されている信号に、適合する3Dモードを選びます。

SIDE BY SIDE 3D



2つの映像を水平方向へ計測することで、サイドバイサイド(横並び)方式の3D信号をフルスクリーン表示に変換します。

TOP/BOTTOM 3D



2つの映像を垂直方向へ計測することで、トップボトム(縦並び)方式の3D信号をフルスクリーン表示に変換します。

2Dモード

番組提供者から送出されている信号に、適合する2Dモードを選びます。

STANDARD 2D



変換を必要としない、通常の2Dテレビ映像を表示します。

SIDE BY SIDE 2D



1つの映像を水平方向へ計測することで、サイドバイサイド(横並び)方式の3D信号を、2Dのフルスクリーン表示に変換します。

TOP/BOTTOM 2D



1つの映像を垂直方向へ計測することで、トップボトム(縦並び)方式の3D信号を、2Dのフルスクリーン表示に変換します。

モードの自動変更

自動3D信号が消えた場合、テレビは、現在見ているソースが最後におかれていたモードへと自動的に戻ります。チャンネルとソースを変更した場合は、テレビはSTANDARD 2Dに切り替わります。

テレビスクリーンとプロジェクター

接続されるすべてのテレビスクリーンとプロジェクターが、3D技術に対応しているとは限りません。接続したテレビスクリーンまたはプロジェクターが3Dに対応していない場合、TVまたはCINEMAモードのそれぞれにおける3D DISPLAYメニュー内で、3Dの文字は灰色に沈みます。

デュアルスクリーン 字幕

2つのソースがもし同時にスクリーン上に表示された場合、テレビは常に2Dモードでの表示を行いません。字幕には対応していない場合もあります。

サウンドのタイプと映像フォーマットを変更する

このテレビの内蔵チューナー経由でテレビを見ている時は、サウンドのタイプを変えたり使用可能な映像フォーマットを選ぶことができます。

サウンドのタイプ、または言語を切り替える

サウンドのタイプと言語を切り替えます。

Sound

サウンドタイプを呼び出す*1

Sound

繰り返し押して、選択可能なサウンドのタイプを切り替える

映像フォーマットを選ぶ

このテレビは、選ばれたソースの映像を自動的に最大化してスクリーンに映しますが、お客様が好みのフォーマットを指定することもできます。

Beo6 ディスプレイに Scene を呼び出す



Picture ディスプレイを選ぶ*1

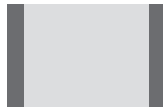
1-3

フォーマットを選ぶ*2



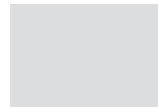
映像を上下に動かす*3

FORMAT 1



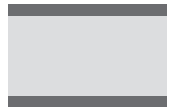
Standard*4
パノラマまたは4:3

FORMAT 2



Zoom
映像は縦方向に微調整できる

FORMAT 3



Wide
ハイビジョンの純正16:9ワイドスクリーン

用語などの説明

^{1*} サウンドと映像

Beo4 では、サウンドタイプを変える SOUND も映像フォーマットを変える FORMAT も、LIST メニューを経由して呼び出します。Beo4 に SOUND と FORMAT を表示させるためには、これらの機能を Beo4 のリストにあらかじめ追加しておかねばなりません。

^{2*} 最適化

Beo6 で Optimise を押すと、映像フォーマットが自動で最適化されます。Beo4 ではセンターボタンを押します。映像を上下に動かせるのは、Standard および Zoom フォーマットだけです。

^{3*} 映像を上下に動かす

^{4*} バリエーション

Standard では、Beo6 で Variation を押すごとにフォーマットのバリエーションが切り替わります。Beo4 では ◀ または ▶ を押します。

どのリスニングポジションでも最高のサウンド体験を得るため、カスタマイズしたプリセットを選ぶことができますし、今いる場所に合わせ、サウンドを回転させることもできます。

リスニングプリセットを選ぶ

テレビを見たり音楽を聞いている時、ご自分でプリセットしておいたスピーカーの組み合わせを選ぶことで、現在のリスニングポジションに最適なサウンドが得られます。また、現在のサウンドを回転させ、正面からサウンドが聴こえてくる効果を得ることも可能です。Adaptive Sound Technologyは、あらかじめ設定して有効にしておく必要があります。詳しくはガイドを参照してください。



押す

押す

プリセットを選ぶ

ないし

サウンドを回転させる

リモコン

このセットアップがもつ利点をフルに活用するには、数組のスピーカーと Beo6 リモコンが必要となります。使うスピーカーが 2-3 本だけ、または Beo4 リモコンしかない場合、このセットアップは推奨できないため、ガイドで説明されている Adaptive Sound Technology をオフにしたセットアップを使ってください。テレビをオンにした時は、TV プリセットが自動的に選ばれます。何らかのオーディオソースを選んだ時に、特定のリスニングプリセットを自動的に選ばせたい場合は、SOUND ADJUSTMENT メニューの AUDIO PRESET を設定します。

リスニングプリセットの自動選択

- 18 テレビをセットアップする
- 19 クリーニング
- 20 接続パネル
- 22 テレビの初期設定

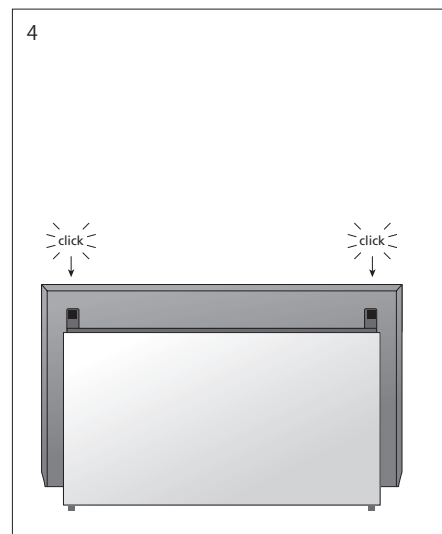
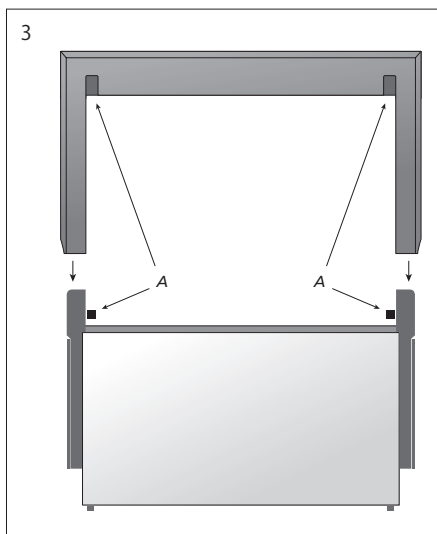
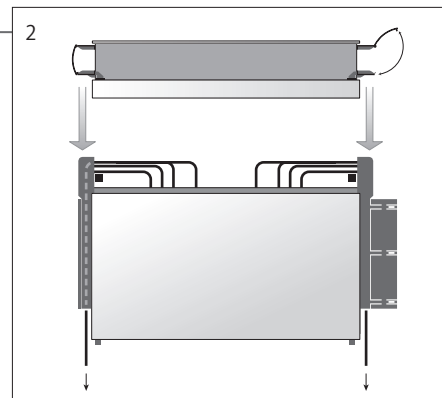
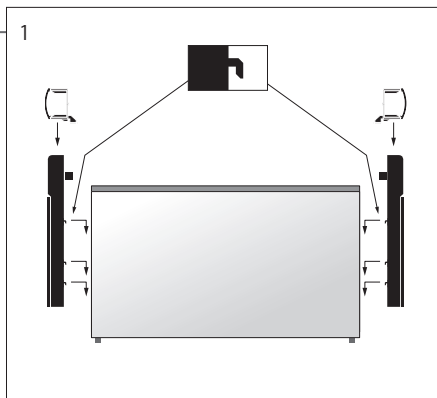
テレビをセットアップする

以下の説明をよく読んで、このテレビを設置し、必要な接続を行なってください。

ケーブルをセットする

このシステムに外部機器を接続していく場合は、まずいちばん端にある端子に対応している機器を接続し、その後は、1つずつ中央へ向かって接続していくことをお勧めします。こうすれば、次に接続したい端子が隠れてしまうことはありません。こうすることで、接続の作業が順調に進められます。

- 1 右の図のように、システムの左右にケーブルブラケットを取り付けます。
- 2 ブラケットを開き、必要とされる接続を行なったあと、全ケーブルをブラケットに通して下から出し、ブラケットを閉じます。
- 3 接続がすべて終わったら、両方のケーブルブラケットにスライドさせながらケーブルカバーをはめます。タブ(A)は、ケーブルカバーのくぼみに入っていきます。
- 4 カチッという音がするまで、ケーブルカバーを静かに押し下げます。ケーブルカバーを外す時は、タブ(A)を親指で押しながら、他の指でケーブルカバーを上げていきます。



重要:

通風 適切な通風を確保するために、テレビの両側には最低5cm、上部には最低10cmの空間を設けてください。テレビ裏側の通風口は、絶対にふさがらないでください。オーバーヒートした場合(スタンバイライトが点滅しスクリーンに警告が表示されます)は、テレビをオフではなくスタンバイ状態にして、冷えるのを待ってください。冷却している間、テレビの操作はできません。

注意! ロゴやデジタル写真などの静止画、および4:3フォーマットの映像を、長時間スクリーンに表示させないでください。スクリーン上に、焼け付きとなって残ってしまう場合があります。

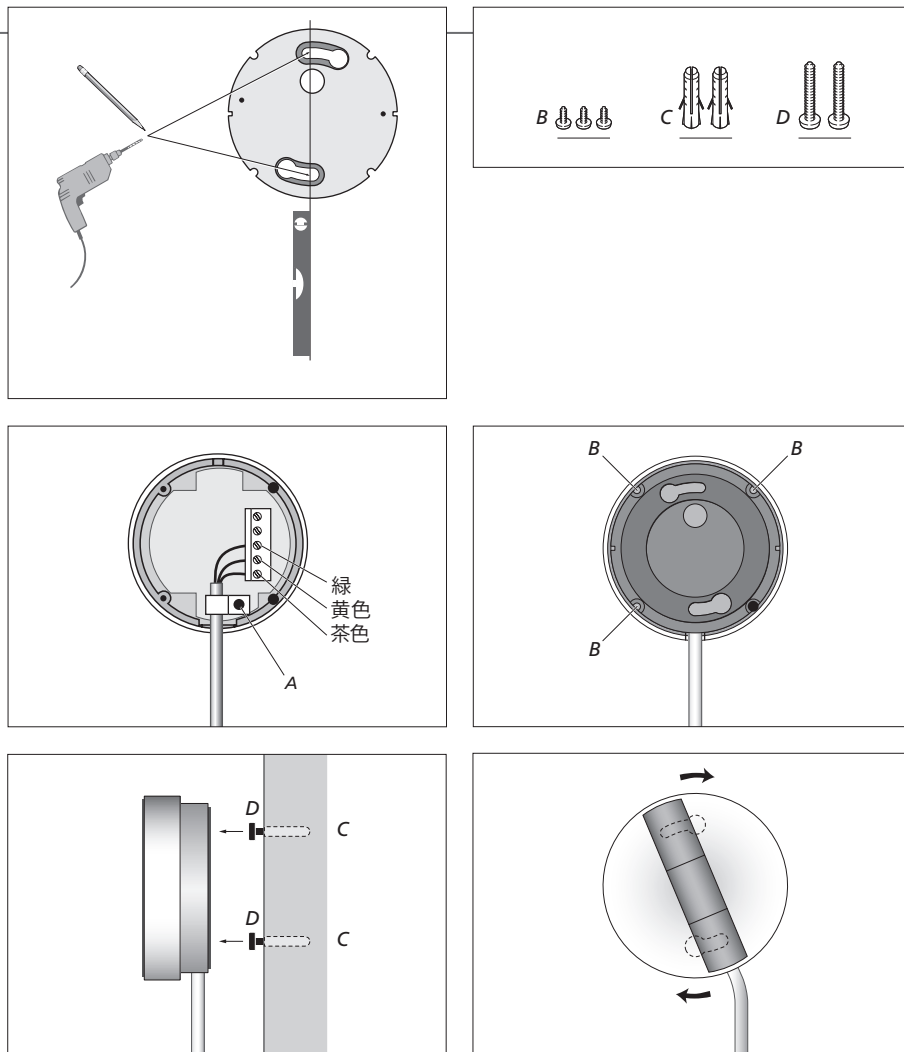
プロジェクター用のリモコン信号受光部

テレビとプロジェクターの両方を使っていて、プロジェクターのスクリーンを使用するとリモコン信号の受光部が隠されてしまうような場合には、2個目の受光部を設置しなければいけません。

信号受光部は、リモコンからの信号を受信してシステムに送り、システムは適切なコントロール信号を接続された機器へ送ります。

信号受光部は、リモコン信号を確実に受信できる場所に設置してください。もし受光部が不適切な位置に設置されていると、接続した機器から発せられた光が、テレビのリモコン操作を阻害することもあります。

右図のように信号受光部を設置したら、ケーブルを、システム側のIR IN端子(ミニジャック)に接続します。

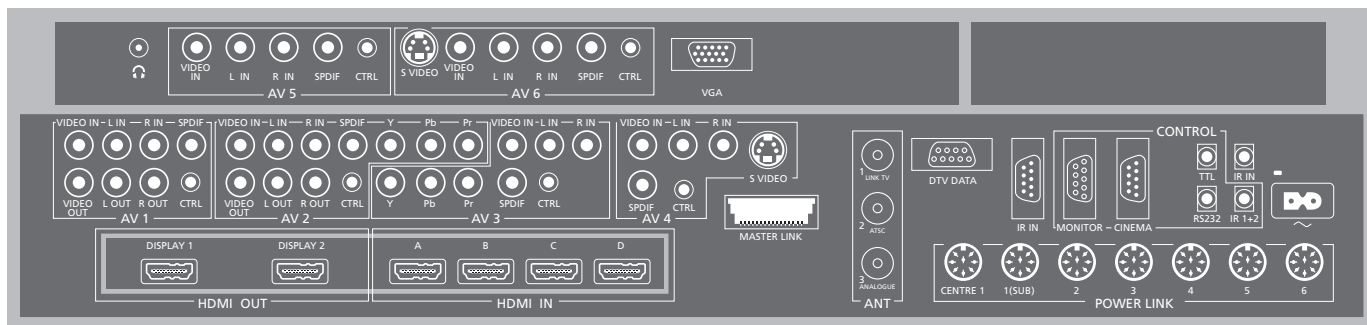


クリーニング

- クリーニング** クリーニングなどの日常のお手入れは、お客様ご自身をお願いしております。
- キャビネットと操作系** 表面のホコリなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。油污れやしつこい汚れなどは、台所用等のマイルドな洗剤を薄く溶いた水と、柔らかな布を使い拭き取ってください。
- アルコール類厳禁** このテレビのクリーニングに、アルコール等の溶剤は絶対に使わないでください。

接続パネル

メイン接続パネルに接続するすべての機器は、CONNECTIONS メニューを使って、登録を行なう必要があります。側面の接続パネルに接続した機器も、CONNECTIONS メニューから登録できます。



AV1
主に使用する映像レコーダーや、端末機器を接続する端子グループです。各種のビジュアル機器も接続できます。

AV2
外部ビジュアル機器をAV接続する端子グループです。

AV3
外部ビジュアル機器をAV接続する端子グループです。このテレビは、AV1に接続された映像レコーダーと、AV3に接続された映像ソース機器のあいだの信号経路を、常にオープンに保っています。これによって、タイマー録画を行なう際、AV3に接続された機器のスイッチを自動的にオンにし、AV1に接続されたレコーダーで、AV3側の機器からの映像を録画することができます(各機器が、この機能に対応している場合のみ)。

AV4
外部ビジュアル機器をAV接続する端子グループです。

AV5
外部ビジュアル機器をAV接続する端子グループです。BeoMaster、デジタルカメラ、ビデオカメラを接続することもできます。

AV6
外部ビジュアル機器をAV接続する端子グループです。デジタルカメラ、ビデオカメラを接続することもできます。

CTRL (AV1 - AV6)
AV端子に接続された外部機器への赤外線操作信号は、これら端子のどれかに接続します。

L-IN, R-IN (AV1 - AV6)
左右のサウンドのライン入力です。AV5およびAV6は、カメラまたはビデオカメラなどの音声接続用です。

L-R OUT (AV1-AV2)
左右のサウンドのライン出力です。

VIDEO IN (AV1 - AV6)
映像信号を入力する端子です。AV5およびAV6には、カメラやビデオカメラが接続できます。

VIDEO OUT (AV1-AV2)
映像レコーダー用の出力端子です。

Y - Pb - Pr (AV2 - AV3)
HDTVソースなど、外部機器からのビデオ信号の接続用です。いずれかのAV端子、またはデジタルオーディオ端子と組み合わせて使用できます。

SPDIF (AV1 - AV6)
DVDプレーヤーなどからの、デジタル音声信号の入力端子です。

S VIDEO (AV4, AV6)
ゲームコンソールなどの、Y/C出力をもった機器の接続用です。

HDMI OUT (DISPLAY 1 - 2)
プラズマスクリーンないしプロジェクターを接続する端子です。プラズマスクリーンかプロジェクターのどちらかしか使わない場合は、DISPLAY 1端子に接続します。両方使う場合は、スクリーンはDISPLAY 1端子に、プロジェクターはDISPLAY 2端子に接続してください。2台のスクリーン、または2台のプロジェクターを、同時に接続することはできません。

用語などの説明

電源コード: コードの片側を、テレビの接続パネルの ~ 端子に接続し、プラグを壁のコンセントに接続します。テレビは、いつでも操作可能なスタンバイ状態になります。

このイラストに描かれたメイン接続パネルの端子の中には、テレビ内部の接続ですでに使用されているものがあるかもしれません。これらの端子からは、ケーブルを抜かないでください。

HDMI IN (A-D)

High Definition Multimedia Interface をもつ映像ソース、またはパソコンとの接続用です。これらの端子に接続した機器は、どのAV端子グループにも登録することができます。HDMI 端子の数を増やしたい場合は、HDMI Expander を HDMI C 端子に接続してください。

ANT (1-3)

(1) 映像信号を他の部屋に供給するための、アンテナ出力端子です。(2) 将来使用されます。(3) 外部地上波/ケーブルテレビからの、アンテナを接続します。

DTV DATA

将来の技術に対応するための端子です。

MASTER LINK

対応している Bang & Olufsen 製のオーディオまたはビジュアルシステムを接続します。この端子はまた、家中にサウンドを供給する BeoLink システムにも使用されます。

CENTRE 1

BeoLab 7 など、センタースピーカーの接続用です。接続についての詳細は、各スピーカーに付属のガイドをご覧ください。

POWER LINK 1-6

サラウンドシステムで使う各外部スピーカーを接続します。詳しくはガイドを参照してください。

1 (SUB)

最大2本までの、Bang & Olufsen製サブウーファースを接続する端子です。この接続用にケーブルを2本に分けるケーブルスプリッタは、Bang & Olufsen 販売店から入手できます。

IR IN (9-pin)

リモコン操作を可能にする信号受光部を接続します。

MONITOR

プラズマスクリーンを接続します。

CINEMA

ホームオートメーションシステムの接続用です。

TTL/RS232

ホテル向けのシステムでのみ使用します。

IR IN (ミニジャック)

テレビをプロジェクターと組み合わせる際に、外部IR受信機を接続します。

IR 1+2

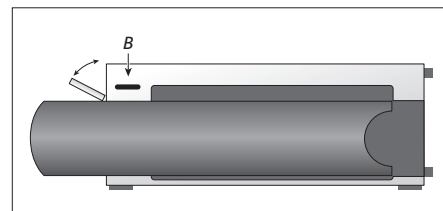
ホームシアターセットアップ、またはHDMI Expanderを使用する際、外部IR発信機を接続します。

～電源

電源コードを接続します。

VGA

ハイビジョン対応の映像ソース、またはパソコンを接続する端子です。この端子には、BeoMasterも接続できます。



一時的に接続する機器用の端子へアクセスするには、システム右側のボタン (B) を押してください。ドアが自動的に開きます。閉める時は手動で閉めてください。

PHONES

ステレオヘッドフォンの接続用です。

- > テレビに接続されているスピーカーを消音するには、音量ホイールを左方向へ素早く回します。(Beo4: ▲と▼ボタンの中央を押します)。
- > ヘッドフォンからの音量を調節するには、ゆっくり左右へ回します。(Beo4: ▲または▼ボタンを押します)。
- > もう1度スピーカーから音を出す時は、音量ホイールを左方向へ素早く回してください。(Beo4: ▲▼ボタンの中央を押します)。

注意! 大音量での長時間の視聴は、聴力を損なう恐れがあります。

注意!映像レコーダーは、AV1またはAV2端子グループにしか接続できません。他の端子グループは、映像出力をもっていないからです。主に使用する映像レコーダーをAV1に接続し、その他の映像レコーダーはAV2に接続してください。

テレビの初期設定

このテレビを初めて電源につなぎ、スイッチをオンにすると、初期設定を行なうための画面が表示されます。初期設定した内容は、後日、同じ画面を呼び出すことで変更することができます。

テレビのスイッチを入れる

TV

このテレビは、起動して操作可能となるまで約20秒かかります。

スイッチオン

項目を選ぶ

◀▶ または ◀◇▶



このテレビを初めてオンにした時だけ、以下の設定用メニューが表示されていきます。^{*1}ただし表示されるメニューの順番は、実行した接続と設定に依存します。

項目を選ぶ

承認して次のメニュー項目へ進む

REMOTE CONTROL	リモコンのナビゲーションボタンを有効または無効にする ^{*2}
TUNER SETUP	テレビ内蔵チューナーを有効/無効にする
CONNECTIONS	接続した機器を登録する
AUTO TUNING	テレビのチャンネルを自動で受信する。テレビ内蔵チューナーが有効の時にのみ表示される。詳しくはガイドを参照してください。

情報

テレビ内蔵チューナー CHANNEL SETUP メニューは、テレビ内蔵チューナーが有効の時だけ表示されます。詳しくはこのテレビのガイドをご覧ください。

接続 各端子に接続した機器のタイプ、使われている端子、製品名、ソース名を選びます。

¹*注意! 初期設定をしている時は、あるメニューで設定を終えたあと、緑色のボタンを押さないと次のメニューへ進めないことがあります。スクリーン表示される指示に従ってください。

スピーカーのセットアップ

リスニングポジションに合わせ、各スピーカーからのサウンドを最適化します。Adaptive Sound Technologyを楽しむためには、数組のスピーカーと Beo6 リモコンが必要となります。

AST ON/OFF

Adaptive Sound Technology を有効または無効にする

AST ON:

SPEAKER SETUP

TV LISTENING PRESET

CINEMA LISTENING PRESET

AST OFF:

SPEAKER TYPES

SPEAKER ROLES

SPEAKER DISTANCE

SPEAKER LEVEL

初期設定の段階では、テレビを見る時に使用するスピーカーのみが設定できます。詳しくはガイドを参照してください。

SOUND ADJUSTMENT

SOUND ADJUSTMENT

デフォルトとする2種のスピーカーの組み合わせに対して、音量、低音と高音のレベル、ラウドネスを調整してプリセットします。

SOUND SETUP

各 LISTENING PRESET を設定します。詳しくはガイドを参照してください。

自動スタンバイを設定する

テレビは、一定の時間なんの操作もされなかった場合、自動的にスタンバイ状態になるよう設定することもできます。詳しくはガイドを参照してください。

AUTO STANDBY

テレビのスタンバイを設定する

²*ナビゲーションボタン *で使用の Beo4 にナビゲーションボタンがなかったり、たとえあってもその Beo4 が正しいモードに設定されていない場合は、ナビゲーションボタンを有効にすることはできません。詳しくは、Beo4 のガイドをご覧ください。Bang & Olufsen 販売店へお問い合わせください。

プロジェクター テレビスクリーンではなくプロジェクターを接続した場合は、初期設定が完了した後いったんスイッチを切り、再びスイッチを入れることで、すべての設定が有効になります。

注意! リモコンと初期設定に関するより詳しい情報は、テレビのガイドをご覧ください。

電気・電子機器の廃棄(WEEE) - 環境保護対策



左に示したマークが付けられている電子機器や電子部品、および電池を、通常の家ごみと一緒に処分してはいけません。すべての電子機器や電子部品、および電池は、別個に収集され、処分される必要があります。

お客様の国で採用されている回収システムに従い、電気器具や電子機器を処分することは、環境と人類の健康を保護し、自然資源の有効活用に貢献することを意味します。

電気器具や電子機器、および電池の廃棄回収により、機器に含まれる有害物質による汚染を未然に防ぐことができます。

各地域での正しい廃棄方法については、Bang & Olufsen販売店にご相談ください。

左のマークが付けられないほど小さな製品については、ユーザーガイド、保証書、あるいはパッケージに、このマークが付けられています。

すべてのBang & Olufsen製品は、世界各国で定められた環境保護関連の法令に準拠しています。



本製品は、指令2004/108/ECおよび2006/95/ECに規定されたすべての条件を満たしています。

もし使用する製品の電源コードに、アースと3ピンプラグが付けられている場合、その製品は保護設置処理された壁のコンセントに接続しなければなりません。感電の危険があるため、電源プラグのアースピンは取り外さなければなりません。もし保護設置処理された壁のコンセントがない場合は、電気工事業者に連絡してください。

This product incorporates copyright protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights. Use of this copyright protection technology must be authorized by Rovi, and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by Rovi. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

HDMI, the HDMI Logo and High-Definition Multimedia Interface are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC.



Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Pro Logic, and the double-D symbol are registered trademarks of Dolby Laboratories.

Confidential unpublished works.
Copyright 1992–2003 Dolby Laboratories.

All rights reserved.



Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535; 7,003,467; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS, DTS Digital Surround, ES, and Neo:6 are registered trademarks and the DTS logos, and Symbol are trademarks of DTS, Inc.

© 1996–2008 DTS, Inc.

All Rights Reserved.

U.S. Patent's 6,836,549; 6,381,747; 7,050,698; 6,516,132; and 5,583,936

For the US-market only!

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.

This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the retailer or an experienced radio/TV technician for help.

For the Canadian market only!

This class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.



3510745110200003

